

音更町総合計画推進委員会会議結果（要旨）

会議名	第1回音更町総合計画推進委員会
開催日時	令和3年10月13日（水） 午後6時30分から午後8時00分
開催場所	音更町役場庁舎3階 特別会議室
委員出席者	岡庭委員長、林委員長職務代理、石井委員、宇佐見委員、内形委員、河田委員、木野村委員、菅原委員、土田委員、野久委員、
オブザーバ出席者	北海道十勝総合振興局地域創生部地域政策課長 千葉氏
町側出席者	小野町長、吉田企画財政部長、重堂企画課長、川村企画調整係長、杉本企画調整係主事、松本企画調整係主事、津久井まちづくり政策推進員
傍聴者	なし
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 音更町総合計画推進委員会委員委嘱状の交付 3 あいさつ 4 議件 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員長の選任について (2) 委員長職務代理者の指名について 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 音更町総合計画推進委員会について (2) 第5期総合計画推進管理評価調書について (3) 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書について (4) 次のスケジュールについて
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・音更町総合計画推進委員会議案 ・重点施策推進管理評価調書、総合戦略推進管理評価調書 ・第5期音更町総合計画書
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>【第5期総合計画推進管理評価調書について】</p> <p>委員： 総合計画推進管理評価調書（個票）の「2 施策の推進に向けた現在の取組状況と今後」に記載されている各年度の評価が、重点施策推進管理評価調書の評価部分に反映されるのか。</p> <p>事務局： はい。重点項目1の場合、施策の「農業経営の安定化」から「農商工観連携の推進」まで同様に評価を行い、最終的に全体の平均値を出して評価区分（A～D）を決定しており、重点項目1の評価区分はAとしている。</p> <p>委員： 総合計画推進管理評価調書（個票）の評価について、「順調に進んでいる」、「ある程度順調に進んでいる」、「遅れがある」という言葉は曖昧な部分があると思うが、評価を行うに当たって、目標対比が何パーセントなど、基となる数値的な根拠があるのか。</p> <p>事務局： 評価の仕方としては、まず各担当課の自己評価を基に点数を入れてもらい、その推進状況を企画課で判断し、最終的な点数をつけている。曖昧だと言われればそのとおりだが、各分野、施策</p>

ごとに一定の統一感や均一性を持たせて、担当課がつけた自己評価が甘い場合などは、下げるなどしており、数値的な基準はない。

委員： 評価を行う担当課も企画課も大変だと思うので、次回以降の評価の仕方については、数値的な基準を設けられるものは設定した方がよい。数字が低い方から悪いということではなく、力を入れる必要がある部分を明確にすることが推進していく上で重要である。

事務局： 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業ができなかったという理由で、担当課が評価を下げていた施策も多く見られたが、代わりに何か実施したということであれば、そこは評価している。

また、今年度の推進委員会は、第5期総合計画の最終年度である令和2年度の取組について評価するものであり、次年度以降は、今年度新たにスタートした第6期総合計画の評価を行っていくため、評価調書についても、わかりやすく、納得いただける評価調書の構成を検討していく。

委員： 総合計画推進管理評価調書の「(1) 農業経営の安定化」における目標指標として「農業総生産額」とあるが、この実績額は農協への出荷販売額のみの実績か。

事務局： 農協への出荷販売額のみでなく、農協以外への出荷や国の施策等の交付金などを含めて算出しており、町独自の農業概要という統計で調べた数値である。

委員： 評価について、目標指標をベースに考えると、平成28年から平成29年にかけて農業総生産額の実績が大きく上昇していることから、基準年の平成26年度の評価が3、28年度が4、29年度が5と推移していくのかと考えたが、違うのか。

事務局： 評価の根拠については、目標指標の農業総生産額が多いまたは少ないという基準ではなく、農業総生産額を増やすために様々な事務事業に取り組んでいる中で、その事務事業の推進状況がどうなのか、農業総生産額の上昇に結びついているのかという部分を判断して評価している

委員： 平成30年度の事務費実績額が突出して高く、これだけお金をかけたのであれば、令和元年度の実績額が大きく伸びるものではないのか。

事務局： 平成30年度の事業費については、「産地生産基盤パワーアップ事業補助金」として、国の補助金を活用し、機械整備等の取組を進めた点が大きいと思うが、必ずしも取組が翌年の生産に結びつくわけではなく、長い年月をかけて効果を生むものや、農業は天候に左右される部分もあるので、効果がすぐに現れるわけではないことをご理解いただきたい。

【まち・ひと・しごと創生総合戦略推進管理評価調書について】

委員： 総合戦略施策推進管理評価調書の令和2年度の評価は、総合戦略推進管理評価調書（個表）のどこの数字が反映されているのか。

事務局： 総合戦略施策推進管理評価調書（個表）左下に記載のある「●施策の点検・評価」の令和2年度における必要性については、「重点及び早急に推進することが必要な施策」として評価5、その右側の推進状況の評価については、「一定程度進んでいる」として評価4としており、推進状況の評価を総合戦略施策推進管理評価調書の評価に反映させている。

委員： 総合計画推進管理評価調書（個表）の「●施策の点検・評価」の評価基準について、「一定程度進んでいる（50～79%）」とあるが、パーセントについては、何を何で割った数値なのか。

事務局： 数値的なものを根拠に評価をつけているわけではなく、担当課の自己評価を基に推進状況が進んでいるかどうかを判断し、評価しているのが実態である。また、総合戦略における評価区分のパーセント割合については、音更町独自で決めたものではなく、国全体で共通の評価基準のほずであり、数値で評価できるものは数値で評価を行うように定められたものだったかと思う。

次年度以降、総合計画重点施策推進管理評価調書と同様に、総合戦略においても可能な限りわかりやすい評価基準の設定や納得いただける調書の作成を検討していく。

【次回のスケジュールについて】

委員： 年内にあと3回開催予定か。

事務局： 年内2回である。

委員： では、来年の1月に2回行う予定か。

事務局： はい。最終的に議会に報告する日程が2月下旬となるので、1月に2回行いたいと考えているが、5回目が2月上旬になる可能性もある。今のところ11月上旬に2回目、下旬に3回目、1月中旬に4回目、1月下旬に5回目を予定しており、委員長と委員長代理のスケジュールを確認し、日程を調整させていただく。

委員： 差し支えなければ、次回の候補日を教えていただきたい。

事務局： 調書の説明を行う担当課とまだ調整をしておらず、また、委員長が先ほど選任されたばかりのため、日程調整はできていない。また、委員一人ひとりの日程を確認することは難しく、委員長と委員長代理のスケジュールと担当課の出席できる日程で調整することとなるので、ご理解いただきたい。できるだけ早急に案内を差し上げたいと考えているので、よろしく願いたい。